



教育フォーラム

「こども・教育・やあの未来を考えよう！」に参加！

2023
2/18

参加されたみなさんが、個人・一市民として、自分の経験や学校・地域の取り組みから見えてくる課題をスピーチされました。立場を超えて課題を共有し、子どもを真ん中にして大人ができることについて考える時間となりました。特に子どもの発達特性をスピーディーに判断する支援体制や、子どもが安心できる学校内外での居場所づくりの必要性、子どもや保護者の相談に応えるための教育と福祉や医療との連携、外国にルーツを持つ子どもたちが抱える言葉や文化の壁、ヤングケアラーへの包括的な支援、などのテーマに多くの関心が寄せられました。また、学校図書館司書の重要性は、



ただ本の貸し借りだけでなく、地域の多様な大人との出会いの場所にもつながること、中学校給食ランチボックス形態

の課題など、もっと話を聴きたいと思ったフォーラムになりました。最後に古賀ちかげ参議院議員からの国政報告を聞き、4月から運用される子ども家庭庁の内容が見えてこないことや、大阪の「ともに学び、ともに生きる」インクルーシブ教育の先駆けの灯を消してはならないことなどについてお話をうかがい、教職員・保護者・地域が分断されず、おたがいを尊重し、協力して、子どもたちの支援者・応援者でありたいと思いました。



5年ぶり開催の 恩智川クリーンアップに参加



2023
3/19

長靴をはいて川辺に降り、東山本地域の子どもたちを含めた住民の皆さんとごみ拾いをしました。きれいになった兩岸を見ると晴れ晴れとした気持ちになります。まだまだ取りきれませんが、地域での顔の見える活動が、地域の活力にもつながっているなと思い、早々のコロナの収束を願わずにおれませんでした。私は高校生の頃、この川を見ながら自転車通学していましたので特に感慨深かったです。



未来ある地球を残したい 熱い想いがあふれた時間

2023
3/26

ハッピーアースディ大阪2023での「持続可能な地域って?」「持続可能な社会って?」のトークセッションに参加しました。実行委員の大学生の皆さんと、政策提言や議会の仕組みや地域づくりなど、環境問題をベースにさまざまな課題の話ができました。若い柔軟な思考回路と行動力にパワーを分けてもらった気がします。雨降る冷たい天気でしたが、話す人も見に来てくださった方々も、未来ある地球を残したい熱い想いが詰まった時間になったと思います。いい出会いの機会をありがとうございました！



西川ありの市政報告のご感想やご意見をお寄せください。

また、皆様の暮らしの困りごとなど、相談もお気軽にお寄せください。

発行：西川あり 八尾市本町 2-2-23 tel/fax072-923-0293 alitomo0509@gmail.com



alitomo.net





2023 年 3 月定例会が終わりました。例年 3 月は次の 1 年間の予算が提案されます。統一地方選挙のある年（4 年に一度）は、おおよその骨格予算が生まれ、選挙後の 6 月にもう一度予算提案が行われます。

地方自治体は、市長（首長）と議員のそれぞれを選挙によって選出する二元代表制です。市長 + 行政が提案する予算・事業などを、議員が審議・決定をします。市長と議員は対等な関係でよりよい施策を議論します。

選挙や議会は、多数決による決定です。しかし、多数決 = 民主主義ではありません。多数決で物事が決まるなら、大勢の中にあることがいいこと、自分と意見の違う人は厄介、と思うようになってしまわないか心配です。行政の役割を考えたとき、少数意見を理解して汲み取って、市政に反映させていくことが大切だと私は思っています。民主主義の反対は独裁主義です。民主主義の名前のもとで多数派の独裁社会にならないようチェックできる市民力をつける必要があると思っています。

まずは、この 4 月の選挙に関心をお持ちいただくことを願っています。



気になった 2023 年度予算について

重層的支援体制整備事業

▶▶▶ 34,064,000 円

従来の中で、支援につなげることが難しかった世帯や個人に対して、誰一人取り残さない重層的支援体制が整備されます。支援機関、関係団体、地域住民が連携し、課題を抱えた方の相談支援の充実や、交流拠点創出に向けて取り組みが進みます。

ゼロカーボンシティやお推進事業

▶▶▶▶ 2,136,000 円

2030 年までの八尾市の「地球温暖化防止対策実行計画」が再編されました。国の計画値より大きく目標値を掲げ、八尾市としての取り組みの意欲を感じさせられます。しかし、予算があまりに少なく、具体的にどのように事業が進められるのか懸念していると委員会でも発言しました。安心して暮らせる地球を取り戻すための行動を市民一丸となって進めていきたいと思っています。

無償化の陰で消える予算は？

最近よく耳にする〇〇の無償化。なんでもただになったら嬉しいものです。生活の基本を支える大事な視点だと思いますが、全ては税金です。何かに使うと何かがなくなります。国政では、防衛費は一段と高く予算が組まれています。市民のニーズに応じた事業展開ができるよう、せめて身近な地方自治体では、さまざまな施策、事業のアンケートを取り、多様な意見を取り入れて欲しいと思います。



本紹介



「最近、地球が暑くてクマってます。」

著者 / 水野敬也 + 長沼直樹

発行 / (株) 文響社

八尾市で子育て支援のボランティアと一緒にしていた友人が長野県上田市に引っ越し、NPO 法人上田市民エネルギーを立ち上げ、

代表をしています。持続可能な街づくりを地域の方々と取り組んでいます。その友人から教えてもらった地球温暖化が一番よくわかるやさしい本で、お子さんとも一緒に読めます。主人公の白くまの親子が現状を話してくれます。地球にやり直しができるうちに簡単なことから一緒に始めませんか？